

1. 件名：「浜岡原子力発電所 3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(153)、(186)」

2. 日時：令和5年11月15日(水) 10時00分～11時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長
他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年11月1日に受取済み>>

- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（補足説明資料）
- ・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査対応スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	はい、規制庁地震津波審査部門のスズキですそれでは、浜原子力発電所大地震による津波コメント回答のヒアリングを始めます。
0:00:14	資料としては 11 月 1 日、
0:00:18	付けて、資料いただいております、コメント回答本編補足資料とありますけど方法修正コメント回答部分。
0:00:26	だと思しますので、コメント回答の修正部分を中心にご説明をお願いします。
0:00:35	はい。中部電力の尾川です。
0:00:37	本日は地震による津波のヒアリングということで、前回 10 月 25 日にヒアリング実施いただいておりますのでそこからの変更点を中心にご説明をさせていただきたいと思っております。
0:00:48	説明時間およそ 25 分となっております。それでは担当の方からご説明させていただきます。
0:00:54	中部電力の永松です。他原子力発電所基準津波の策定のうち地震による津波について、前回ヒアリングからの変更点を中心に御所、コメント回答資料をご説明いたします。
0:01:06	あと 19 ページまでの資料の冒頭の部分と全体概要に関しては、大きな変更はございませんので、23 ページの No. 1 コメント回答からご説明いたします。
0:01:16	24 ページですが、こちらはコメント回答の概要、25 ページは、検討概要です。
0:01:22	これらのコメント回答の概要、検討概要に関しては、前回ヒアリングから全体的に記載を適正化してございます。
0:01:30	内容については、個別のページと、それぞれリンクしてございますのでそれぞれのページの中でご説明いたします。
0:01:38	26 ページからは、(1)のプレート間地震に伴う応力変化による、別の地震の発生に関してです
0:01:46	26 ページは、項目の導入ページ
0:01:49	表の通り、この(1)には、二つの項目として、
0:01:53	①プレート間地震後の別の地震の発生状況の確認と、②プレート間地震による別の時、断層活動への影響の確認を行い、
0:02:04	①と②に基づき、
0:02:06	南海トラフにおける津波評価上の関連性を評価いたします

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:11	27 ページからは、①プレート間地震後の、別の地震の発生状況の確認に関してです。
0:02:19	こちらは、箱書きに太字で記載してあります通り、巨大なプレート間地震の後に発生した津波を発生させる可能性があるM7 以上の大地震の発生状況について、
0:02:31	前回お示ししましたプレート間地震後 10 年間に加えて、十年間で1度も発生していない場合は、10 年後以降で最も早く発生したM7 以上の地震、
0:02:42	までの期間も確認いたしました。
0:02:46	28 ページは国内外のM9 クラスのプレート間地震。
0:02:52	M9 クラスのプレート間地震周辺におけるプレート境界の宇和盤と下盤で発生したM7 以上の実態自身の整備です
0:03:01	左下の、
0:03:02	1964 年アラスカに関しては、本震後十年間でM7 以上の地震の発生記録がなく、
0:03:09	本震後、最短である 23 年後の地震の記録を追加いたしました。
0:03:14	また、各地震のうち、津波発生記録のあるものを、青丸で表示しています
0:03:20	なお、詳細な観測記録が充実しています。2011 年東郷沖地震と、2004 年スマトラ沖地震については、32 ページと 33 ページで、
0:03:31	発生位置と震源メカニズムをそれぞれ整理しております。
0:03:36	29 ページは南海トラフのプレート間地震の主波源域周辺で地震後にプレート境界の宇和盤と下盤で発生したM7 以上の地震です
0:03:48	こちら十年間で発生記録がない地震については、本震後に最短で発生したM7 以上の地震の情報を追加いたしました。
0:03:59	30 ページの南海トラフのM6 以上の地震での整理も同様に、十年間発生記録がない場合は、10 年以降で発生した地震のデータを追加してございます。
0:04:11	31 ページからは、
0:04:13	②プレート間地震による断層活動への影響の確認です。
0:04:18	2 ポツ目ですが、
0:04:20	ここでは、②の確認として、
0:04:23	詳細な観測記録が充実している近年のM9 クラスの地震の事例として、
0:04:29	2011 年徒歩講義地震に加え、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:32	2004年スマトラ地震後に関しても、宇和版下盤において発生したM7以上の地震の断層タイプを確認の上、
0:04:40	南海トラフのババ下盤に分布する断層タイプと、
0:04:44	M9クラスのプレート間地震に伴う、
0:04:46	4番、下盤におけるプレート沈み込み方向の伸長作用による、
0:04:52	南海トラフの断層活動への影響を確認いたします
0:04:57	32ページは、
0:04:59	東北沖地震後、宇和版下盤のM7以上の地震です
0:05:05	ページの右に、本検討における震源メカニズム解。
0:05:09	断層タイプの分類を追加しております。
0:05:14	この上側が、本検討における正断層型地震とした沈み込み方向の伸長作用により発生する地震
0:05:21	でしたが、逆断層型地震とした、沈み込み方向の圧縮作用により発生する地震で、
0:05:28	上側の、
0:05:29	断層タイプとしては、正断層等沈み込み方、
0:05:33	身長横ずれが考えられます。
0:05:36	こうした側の断層タイプとし、地震タイプとしては、逆断層と、沈み込み方向圧縮の横ずれが考えられ、
0:05:45	東北沖地震後には、左の図のように、緑の矢印で示しますプレート間地震の沈み込み方向の伸長作用により、
0:05:55	正断層型の断層活動が促進される方向に働いた結果、
0:06:00	正断層型地震が発生したと考えられます
0:06:05	33ページは、今回追加した2004年スマトラ地震後の、
0:06:10	M7以上の地震です。
0:06:12	スマトラ沖では、2004年、
0:06:15	スマトラ島沖地震以降、宇和版した坂野浅井海溝軸付近では、
0:06:21	M7以上の逆断層型地震は発生せず、
0:06:24	主に正断層型地震が発生しています。
0:06:28	これはプレート間地震による沈み込み方向の伸長作用により、
0:06:32	正断層型の断層活動が促進される方向に働いた結果と考えられます。
0:06:39	34ページは、東北沖の宇和盤と下盤に分布する断層
0:06:45	このうち、
0:06:46	ページの右側に掲載しています、下盤の断層情報として、
0:06:51	右下に、前回会合で示していました、クレームで通る2014による。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:56	海洋プレート内地震の発生状況の図も、再び掲載いたしました。
0:07:02	図の中には、左右に青と赤のラインが入って、
0:07:06	このうち左側の
0:07:08	ラインは、
0:07:09	が下へとる 2009 からクレームが引用した江藤小尾沖地震前の地震発生状況、
0:07:19	右側のラインは 3.11 英語の文献からクレームが引用した東北相補区沖地震後の地震発生状況を示しており、
0:07:29	いずれも浅い部分が、青線の正断層型地震の領域
0:07:37	35 ページは南海トラフの宇和番下盤の断層形成メカニズム
0:07:42	36 ページは南海トラフの不破坂下盤に分布する断層の調査
0:07:49	36 ページの中央に示す海域活断層の評価結果の表の下側に、
0:07:56	横ずれ断層に関する評価を追記してございます。
0:08:00	15 番の遠州断層系は、地質調査に基づく情報から、右横ずれ断層であり、
0:08:07	これは左の平面図に緑の矢印で示すような、
0:08:11	プレートの沈み込み方向を考慮した滑り角の検討結果とも整合していることから、
0:08:17	本検討における逆断層型地震の断層であると。
0:08:21	近傍に位置します規模の小さい、14 番の天竜海底国に沿う断層と合わせて評価して、
0:08:30	下の黄色の箱書きですが、
0:08:32	②オカ確認結果として、付加作用が卓越する段階トラフでは、いわば下盤とも、
0:08:38	プレート沈み込み方向の圧縮による逆断層型の断層が分布しており、沈み込み体の全域を破壊する巨大地震が発生した場合には、
0:08:48	津波に影響の大きい海溝軸付近のババした場合には沈み込み方向の伸長作用が働き、
0:08:55	これら、
0:08:56	逆断層型の断層は、プレート間地震に伴う応力変化により、
0:09:00	クドウが緩和される方向となると確認いたしました。
0:09:05	37 ページは、(1)に関する暴力変化による別の地震の発生に関する
0:09:11	津波評価上の関連性のまとめです。
0:09:14	表の通り、①プレート間地震後の別の地震の発生状況の確認の結果、
0:09:20	プレート間地震に伴う応力変化の影響等により、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:23	津波を発生させるような、別の大規模な地震が発生する時間間隔は、
0:09:28	2011年とオオキ地震の事例では、
0:09:31	約40分ではありますが、
0:09:33	Mw9クラスのその他の地震や南海トラフの地震の事例では、
0:09:37	数ヶ月から数十年の間がある子
0:09:41	②、
0:09:42	プレート間地震による別の地震断層活動への影響の確認の結果、
0:09:47	南海トラフには逆断層型の断層が分布し、
0:09:51	プレート間地震により伸張作用が働くことで、断層活動は緩和する方向であることを確認し、
0:09:58	これらのことから、右側の通り、
0:10:00	プレート間地震に伴う応力変化によって、別の大規模な内陸地殻内地震、もしくは、
0:10:06	海洋プレート内地震が同時発生する津波評価上の関連性はなく、
0:10:12	(1)応力変化の観点から、プレート間地震との組み合わせを考慮する必要はないと評価しました。
0:10:20	38ページから、(2)プレート間地震の破壊の直接伝播による立体性のある連動発生に関して説明いたします
0:10:29	38ページは導入提示といたしました。
0:10:32	南海トラフの沈み込み、沈み込み体の構造等に関する知見の確認では、
0:10:38	付加作用が卓越する南海トラフの沈み込みたいの発達に伴い形成される。
0:10:43	うわ番下盤の構造を確認した上で、
0:10:46	それぞれの断層構造が形成される位置、
0:10:49	外縁隆起体等の顕著な隆起地形との関連、
0:10:53	プレート間地震の直接破壊伝播に関する知見等を確認いたします。
0:10:59	これに基づき、南海トラフにおける津波評価上の関連性を評価します
0:11:05	39ページは、沈み込み体の構造発達に伴い形成される断層変形構造です。
0:11:12	左側には、宇和盤における分岐断層以外の内陸地殻内地震の活断層の形成位置がわかる図を、
0:11:20	右側には、分岐断層の分布するトラフの陸側斜面、
0:11:25	外縁隆起体、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:26	御前崎海脚西部の断層体等が分布する前弧開本の位置関係がわかるⅢD反射断面を追加いたしました。
0:11:35	左中央の図のように、宇和盤の付加体は、沈み込みによる圧縮により変形し、
0:11:41	複雑な内部構造を有しているのに対し、
0:11:44	下盤の海洋地殻は大きな変形をせずに沈み込んでいます。
0:11:50	プレート境界から枝分かれする分岐断層は、このような沈み込み体の構造発達に伴い形成される付加体の構造であり、
0:11:58	下盤では形成されず、宇和盤でのみ形成さ
0:12:03	また、右のMyと2007の図のように、分岐断層は、外縁隆起体等の顕著な隆起地形を形成しており、
0:12:11	梅崎海脚西部の断層体等の分岐断層以外の内陸地殻内地震の活断層は、外縁隆起体より陸側に分布して今
0:12:22	40ページにはそれぞれの断層構造の形成位置と顕著な隆起地形との関係に関して、
0:12:28	補足に掲載していました資料を、コメント回答資料に追加いたしました。
0:12:34	分岐断層は、プレート間地震の破壊が伝播し、
0:12:37	プレート間地震との連動した活動を繰り返すことにより、
0:12:41	反射断面の右端の方に大きな落差のある地形が見られますように、
0:12:46	分岐断層の陸側には、外縁隆起体等の顕著な隆起地形が形成されています。
0:12:52	これに対して、ヨリキ陸側、反射断面上では、より左側に位置する分岐断層以外の内陸地殻内地震の活断層は、
0:13:02	分岐断層とされる知見がなく、外縁隆起体等の顕著な隆起地形との関連も認められません。
0:13:09	詳細は補足説明資料5章に掲載してください
0:13:14	41ページは、プレート間地震の破壊伝播に関する知見、
0:13:19	42ページは、(2)の連動に関する津波評価上の関連性の評価です。
0:13:25	表で整理してございますように、
0:13:27	破壊伝播による連動に関する地学的背景として、
0:13:31	上盤の分岐断層は、トラフ軸付近の付加体内部に形成される構造であり、
0:13:37	プレート間地震の破壊伝播を示す知見があり、分解隆起体等の顕著な地形、隆起地形との関連が認められます

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:46	内陸地殻内地震の断層は、外縁隆起体より陸側のより古い付加体内部に分布し、
0:13:53	プレート間地震の破壊伝播を示す知見はなく、
0:13:57	外縁隆起等の顕著な隆起地形との関連は認められません。
0:14:01	このことから、
0:14:03	右の津波評価上の関連性としては、分岐断層は関連性ありと評価し、
0:14:09	内陸地殻内地震の断層は、左側のような地学的背景から、
0:14:14	分岐断層のように、破壊伝播しないと考えられるが、
0:14:19	宇和盤の負荷、複雑な、付加体内部の構造を間考慮すると。
0:14:24	プレート間地震の破壊の一部が伝播する可能性は考えられることを考慮し、
0:14:29	関連性ありと評価しました。
0:14:32	一方、下盤については、プレート境界から枝分かれする分岐断層は、坂野トラフ軸付近の付加体内部に形成される構造であり、
0:14:41	付加体の内、下盤では形成されないこと。
0:14:45	プレート間地震の破壊伝播を示す知見事例はないことから、
0:14:50	津波評価上の関連性はなしと評価しました
0:14:54	なお、プレート間地震と海洋プレート内地震の連動発生を考慮しないという評価方針は、
0:15:01	国内外の最新知見を踏まえて、南海トラフの最大クラスの津波を想定した。
0:15:06	内閣府 2012 が、
0:15:08	南海トラフのプレート間地震と海洋プレート内地震とは、
0:15:13	別地震としれ、一体性のある連動については想定しないとしていることと整合と
0:15:19	43 ページ、44 ページはまとめです。
0:15:23	No. 1 コメント回答の変更に関するご説明は以上です。
0:15:32	中部電力の都築です。
0:15:34	46 ページからは、No.2 コメント回答アベによる津波予測式に用いる地震モーメントに関して、前回ヒアリングからの変更箇所について説明シマ
0:15:44	50 ページをお願いします
0:15:49	50 ページは、アベの予測式を用いた海域の活断層による地殻内地震の津波評価結果になりまして、コメント回答に伴って変更した箇所を赤字としていますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:00	17 断層について、前回ヒアリング資料では、すべて赤字となっていましたので、変更となった箇所のみを赤字とし、資料を適正化しました。
0:16:08	No.2 コメント回答の変更点は以上です
0:16:11	続いて、No.3 コメント回答英語、18 断層等の断層パラメータの変更箇所について説明します
0:16:18	53 ページをお願いします。
0:16:23	53 ページは、コメント回答概要です。ここでは、片括弧 1、5、18 断層等の断層上端深さの設定の変更に伴い、コメント回答概要、
0:16:34	及び右下の図に示す通り、基本モデルのところで、片括弧 1 に伴う変更として、
0:16:39	波源モデルを土木学会 2016 に基づき、断層上端深さを 0 としたこと。
0:16:45	また、パラメータスタディのところで、片括弧 1 に伴う変更として、
0:16:49	パラメータスタディを、断層上端深さ 0 から 5 キロの範囲で実施することを記載し、波源モデルを変更していることを明確化しました。
0:16:58	コメント回答概要を読み上げます。まず、片括弧 1、5、18 断層等の断層上端深さの設定ですが、地質調査によって地表付近に断層変位が認められない活断層、
0:17:10	5、18 断層、17 断層の断層上端深さについて、
0:17:14	今回は調査結果に基づき設定していましたが、津波評価上、調査結果から、断層上端深さを設定する考え方は確立された知見がないことから、
0:17:24	今回は、右下の基本モデルのところに示す通り、
0:17:27	津波評価上確立された知見である土木学会 2016 に基づいて、断層上端深さを 0 キロとして波源モデルを設定し、
0:17:35	またパラメータスタディのところに示す通り、
0:17:38	断層上端深さ 0 から 5 キロの範囲でパラスタを行うことにより、
0:17:42	御前崎海脚西部の断層体等々、統一的な評価を行うこととしました。
0:17:48	片括弧 2、518 断層等の傾斜角の設定の妥当性確認ですが、
0:17:53	地質調査によって、断層面が確認できない活断層の傾斜角のパラメータスタディの範囲を
0:17:59	近傍の御前崎海脚西部の断層体と同じ設定基準±10° としたことについて、
0:18:05	敷地周辺海域における逆断層タイプの断層の傾斜角を整理し、
0:18:10	それらがパラメータスタディの範囲内であることを確認することにより、
0:18:14	傾斜角のパラメータスタディの範囲の妥当性を確認しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:19	54 ページには、5、18 断層の波源モデル設定をお示ししています
0:18:24	今回、表の下の傾斜角の注釈、※2 を追記しており、5、18 断層は、地質調査によって、断層面が確認できないことから、周辺にある同じタイプの御前崎海脚西部の断層体を参照して、傾斜角を設定しています
0:18:39	なお、基本モデルの傾斜角の設定にあたっては、
0:18:42	日本周辺の海域の活断層の分布を整理しているJAMSTEC海域断層情報サイトが、逆断層タイプの傾斜角を一律 45° としていることを踏まえ、
0:18:52	念のため傾斜角を 45° とした場合の影響確認を実施しています
0:18:56	この影響確認について、前回のヒアリングでは、御前崎海脚西部の断層体の設定を参照した。
0:19:02	基準の傾斜角±10° のケースとの比較を行っていましたが、
0:19:06	今回傾斜角を 45° とした影響確認は、基本モデルと比較することに変更しました。
0:19:12	それに伴い、検討のスライドは、パラメータスタディに関するコメント回答ではなく、補足説明資料に移動しています。
0:19:20	55 ページは、5、18 断層の、前回と今回の比較ですが、
0:19:25	今回、断層の断面図のイメージを追加しました。
0:19:29	56 ページは、17 断層の波源モデル設定で、
0:19:33	先ほどの 5、18 断層と同様に、傾斜角について注釈、※3 を追記しており
0:19:40	57 ページには、パラメータスタディの検討方針と設定方法をお示しており、
0:19:45	こちらにも、一番その右側、
0:19:48	断層上端深さの設定値の欄に、断層の断面図のイメージを追記しました。
0:19:54	58 ページと 59 ページは、前回資料から変更ありませんが、518 断層と、17 断層の地質調査結果で、
0:20:04	60 ページは、海域の活断層による地殻内地震の津波評価結果ですが、
0:20:09	左側に前回会合時、右側に今回の結果をお示ししています。
0:20:14	表には、波源モデルごとの各評価地点における最大値を記載しており、
0:20:19	前回から追加または変更となっている箇所を赤字としています。
0:20:23	No.2 コメント回答に伴い、17 断層の評価が追加となって

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:28	また、後、18 断層等の断層上端深さを土木学会 2016 に基づく深さ 0 キロでも評価することとしたことに伴い、
0:20:38	評価が変更となっています。
0:20:40	そのため 5、18 断層の評価結果の前後比較を 61 ページに示しています。61 ページをお願いします。
0:20:50	後、18 断層の断層上端深さについて、
0:20:53	前回は調査結果に基づき設定していましたが、津波評価上、調査結果から断層上端深さを設定する考え方は確立された知見がないことから、
0:21:03	今回は津波評価上確立された知見である土木学会 2016 に基づいて、断層上端深さ 0 キロとして、波源モデルを設定し、
0:21:11	断層上端深さ 0 から 5 キロの範囲でパラメータスタディを行うことにより、
0:21:15	御前崎海脚西部の断層体等々、統一的な評価を行いました。
0:21:21	その結果、1 から 5 号取水槽 34 号取水塔の水位は、前回評価と同程度ですが、
0:21:27	敷地前面の水位は、前回評価よりも大きく保守的な評価となりました。
0:21:32	下の表では、各評価地点において、海域の活断層による地殻内地震の全評価結果の中で、最大値となるものを赤や青でハッチングしており、
0:21:41	水位上昇側の今回評価では、敷地前面は、5、18 断層の影響が最大となり、
0:21:47	1 から 5 号取水槽地点は、前回から変わらず、御前崎海脚西部の断層体が最大となっています。
0:21:54	また水位下降側についても、前回から変わらず、御前崎海脚清野断層体が最大となっています。
0:22:01	62 ページと 63 ページには、水位の上昇側と下降側の時刻歴は形をそれぞれお示していますが、
0:22:08	5、18 断層について、水位上昇側、水位下降側ともに、津波は形の全体的な形状が異なるなどの傾向の違いは見られません。
0:22:18	64 ページは、コメント回答概要の再掲です。
0:22:22	64 ページからは、片括弧 2、5、18 断層等の傾斜角の設定の妥当性確認について説明します
0:22:30	66 ページをお願いします。
0:22:35	66 ページと 67 ページには、5、18 断層周辺の褶曲構造等の分布形状がわかるスライドを今回追加しており、
0:22:44	66 ページは、敷地周辺の褶曲構造の平面図をお示しています

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:49	上の箱書きですが、左の図の通り、
0:22:52	活断層評価により認定した後、18 断層、17 断層の付近には、
0:22:58	複数の褶曲構造が形成されており、
0:23:00	いずれも付加体地域に分布して、褶曲軸が、トラフ軸と併走していること から、
0:23:06	プレートの沈み込みに伴う水平方向の圧縮応力により、堆積盆に生じ た褶曲構造と考えられます
0:23:13	また、5、18 断層、17 断層の東側には、
0:23:18	同じ逆断層タイプであり、かつ同様の断層走向を持つ御前崎海脚西部 の断層体が位置しています
0:23:26	67 ページは、敷地周辺海域の褶曲構造の断面図で
0:23:33	68 ページには、5、18 断層等の傾斜角の設定の妥当性確認の検討方 針をお示しています。
0:23:40	箱書きですが、地質調査によって、断層面が確認できない。後、18 断層 及び、17 断層の傾斜角のパラメータスタディの範囲は、
0:23:50	それらの近傍に位置し、同じ逆断層タイプであり、かつ同様の断層倉庫 を持つ
0:23:56	御前崎海脚西部の断層体と同じ設定としています。
0:24:00	ここでは、5、18 断層の傾斜角のパラスタ範囲の妥当性確認として、
0:24:05	他機関による調査も含めた文献調査、変動地形調査、
0:24:09	地表地質調査、音波探査記録の分析等に基づい
0:24:14	比木周辺の断層構造を確認している当社の活断層評価に基づき、
0:24:19	敷地周辺海域における逆断層タイプの
0:24:23	断層の傾斜角を整理し、
0:24:25	それらが 5、18 断層、17 断層の傾斜角のパラスタ範囲内であることを 確認します。
0:24:34	敷地周辺海域における傾斜角の整理にあたっては、表に、グレーでハ ッチングしている横ずれ断層は、断層タイプが異なること。
0:24:42	外縁るいキタニ関連する分岐断層は、5、18 断層、17 断層から離れたト ラフ軸付近の低角な逆断層であることから、比較の対象外とし、
0:24:53	黄色でハッチングしている逆断層及び、518 断層、17 断層に近い。
0:24:59	全国配分を区切る隆起体に関連する分岐断層の傾斜角と比較すること とします。
0:25:06	69 ページは、検討結果です

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:09	確認されている活断層には褶曲構造や撓曲構造から断層を認定しているものもあり、
0:25:16	傾斜角などの断層構造が確認できるものは、②、③、④、⑥の四つで、
0:25:23	これらの傾斜角は浅部で 60 から 70° 程度。
0:25:26	深部で 35 から 45 度程度となっています。
0:25:30	以上より、敷地周辺の海域の逆断層タイプの断層の傾斜角は、
0:25:34	5、18 断層と、17 断層の傾斜角の設定の範囲内であることを確認しました。
0:25:41	70 ページから 72 ページには、前回から変更はありませんが、傾斜角が確認できる断層の調査結果をお示ししています。
0:25:50	資料の説明は以上です。
0:25:56	はい。説明ありがとうございます。
0:25:59	どうしますかね。
0:26:02	前回のヒアリング等のようにちょっと先に
0:26:07	当海域活断層の方からいきますか。
0:26:11	何ページに戻るかというと、
0:26:14	内陸地殻内から、コメントNo. 2 からなんで、
0:26:19	46 ページ 47 ページからですね。
0:26:23	主に変わっ
0:26:26	たところではあるけれども、
0:26:29	コメント。
0:26:30	トーカイと少しちょっと文言の修正はあったけれども、
0:26:35	アベの式のところは、
0:26:39	基本、中身は修正は、
0:26:43	なさそうなので、
0:26:47	特にアベの式のところなければ 1518 の方にちょっと、
0:26:51	先に。
0:26:52	てしまおうかと思えますけど、
0:26:58	ちょっと後で、確認コメントあれば、戻ってきてください。
0:27:03	で、54 ページで、ちょっと注釈がまた増えたのですがー。
0:27:13	ごめんなさいこの、
0:27:15	※2 で、
0:27:17	あれJAMSTECの土肥。
0:27:19	出ているところはこれ姑息説明に飛んで、
0:27:24	影響分析も補足説明資料 2、全部載ってる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:30	何でコメント回答資料上だとこの中でのためやりましたっていう中身は出てこないんでしたっけ。
0:27:47	エミ電力ハバノでございます。おっしゃる通りで、
0:27:50	54 ページの※イデ記載している。
0:27:55	これ前回
0:27:57	ちょっと影響確認のところの設定をぎりぎりやると。
0:28:02	非常に、その議論になろうという話もありましたんで、我々の趣旨としてはあくまでも、英語、
0:28:10	18 も 17 も合わせて、東西圧縮場の中で同じようにできたという。京成の資料をメインとしつつ、とはいえ 60 度 35 度に対して一般的に、
0:28:25	45 度で引いた場合にどうなるかという影響確認については補足説明資料の
0:28:31	97 から、
0:28:32	99 の方に、
0:28:36	記載しておりまして、結果的には、
0:28:39	変わりませんよというところを入れているということですからちょっとだから前回よりはここの、結局確認の位置付けを通させていただいたという、
0:28:50	趣旨です。
0:28:52	はい。形状スズキです。何ていうか最終的な本編と補足資料との関係でいうと、多分本編に入れるべきものではなくて、補足説明して足りるものなんですけど。
0:29:03	いや
0:29:05	コメント回答、会合で議論或いは質疑とか、質疑で増えるか、ものなのかどうかちゅうのはもちろんあるんですけど、
0:29:14	一応今回消失能検討結果ではあるんですよ。なんでコメント回答の中で、
0:29:21	もしかするとコメント回答のコメント No. 2、3 か。
0:29:27	3 に関連したコメント回答の中での補足。
0:29:30	とかあとは英語 18 の多分解析結果も、
0:29:34	本編にいかない等、本編にのみに多分飛ばしちゃってて、多分コメント回答の中で長々と説明しないから、
0:29:42	本編のみ載せてるんだと思うんですけど。
0:29:45	説明は詳細にするかは別として、多分コメント回答資料でほぼほぼ、完結するように今回、
0:29:53	やった結果、内容が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:56	ということ多分、
0:29:58	前科あった解析結果って多分ものすごい、
0:30:05	パラメパラスターやった全部の結果細々載ってるやつですね。
0:30:09	前回だとどこにあったんで、前回だと多分なんか 69 ページにあるページ 71 ページ載ってたやつを、一応今回多分本編のみに残して、コメント回答からは、
0:30:20	としているんだと思うんですけど。
0:30:23	落としてますよね。どっか残しましたっけ。
0:30:29	今多分説明、実際に説明するイメージで、多分説明する中にそんな細かいパラメーターやった金結果リストみたいなところを説明 1 個 1 個すると冗長なので、
0:30:41	というのはもちろんわかるんですけど、
0:30:45	コメント回答にはないけど、
0:30:48	実は新しく本編だったり補足だけに載っているものがあると。
0:30:52	またそっちを使って確認したり質疑したりっていうふうになるので、
0:30:56	単にこれ資料作りだけの話なんで、
0:30:59	中身自体は変えてないですよね谷場所をちょっとずらしただけで、
0:31:05	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りちょっと細かい情報になるかなと思って本編の方にちょっとさせていただいたんですけども、
0:31:13	コメント回答の方に新たな資料として、そういうことはもちろん、説明上必要。
0:31:18	かと思いますので、そちらは戻させていただきます。
0:31:21	具体的に今おっしゃられているのは、ほぼ今回本編の方の
0:31:28	70、80、
0:31:30	P80 ページ。
0:31:32	81 ページ。
0:31:34	のようなものを、
0:31:42	あそうそうですねはい。こういう 80 ページとか、
0:31:46	81 ページとかこういうものですね、これを
0:31:50	コメント回答資料の評価結果まとめ 73 ページ。
0:31:54	これより前に入れてしまうと、後にたどり着くまでに長くなるし説明の中で触れたり、
0:32:00	するかっていうと多分そういうものではないと思うんですけど。
0:32:03	この後に今回のコメント回答の参考なり今回のコメントガイドの補足なりという形で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:10	入れておけばですね、基本的にやった解析結果とかはコメント回答で完結するので、
0:32:16	というそういう先の話。
0:32:18	なんかいきなり本編に飛んだりしてやりとりっていうところまでいらないうって話で、
0:32:25	はい。中部電力の盛です。承知しました。ちょっと資料の構成について、再度検討させていただきます。
0:32:31	それともう1点、JAMSTECの方の検討については前回
0:32:36	今回のコメント回答自体がパラメータスタディに関するコメントということで、パラメータスタディのモデル、パラスタの結果と45度の結果っていうのを比較して、
0:32:47	ありましたけれども前回のヒアリング呉での
0:32:52	ご説明も踏まえて、我々としてもちょっと基本モデルと比較した方がいいだろうということで今回基本モデルとの比較に変更しています。それに伴ってちょっと、
0:33:01	コメント回答がそもそも基本モデルの設定はいいが湖面パラメータスタディの範囲を決めるにあたって、周辺の断層との関係を見てくださというコメントでしたので、基本モデルの
0:33:14	さらなる影響確認ということでちょっとコメント回答の趣旨からさ、ナンバー3のコメント回答の趣旨からちょっと外れるかなということで、自主的な検討として、補足のほうに掲載させていただいているというものです。
0:33:25	ちょっとこちら資料構成上、ちょっとどうした方がいいのかということとは、再度検討させていただきますけれども、
0:33:32	コメント回答の面では、は、からちょっと外しているということでござい
0:33:41	はい、わかりました。ちょっと、確かにそうですねJAMSTECの方は、
0:33:49	なんで、でも説明上もう、特にはしないただ米ちゃん注釈だけ打ってあるので、
0:33:55	これは何だというふうに、
0:33:57	当然、知らない人たちはそういうふうに見るので、
0:34:02	ただ位置付けとしてはあくまで、参考というか感度、基本モデルに対して、そもそもですよ、周辺でちゃんと調査結果があって、同じような多分形成メカニズムなんで、
0:34:13	きちんと周辺の、お前だけかな、ああいうもの等を参照して断層傾斜角きっちり決めれるんですよ。
0:34:19	いうのを行った上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:21	まあこんなものもあるので、ちなみにそういうのやってみたら、何か感度があるのかっていうのを念のため自主的にやってみました。
0:34:28	いう位置付けは理解はしてるつもりなの。
0:34:31	はい。
0:34:32	ちょっとすいませんそういう資料づくりの点での話ではありました。はい。中部電力浜野です。
0:34:41	入れるって、
0:34:44	97 から 99 はコメント回答の中で見えるような形にしますちょっと資料飛ぶと確かに、
0:34:52	わからなくなるんで、
0:34:57	はい、向井です。あと、ちょっとあれかな前回の時、ヒアリング資料だとやや、
0:35:04	何ていうかちょっと地震の評価の時のこういうような何か断層傾斜角の決め方とかいろいろと、
0:35:11	ごちゃごちゃとしたものがありましたけど、そういうものは、止めてます、素直にコメント回答
0:35:18	と、あとは念のための
0:35:20	JAMSTECの方のを使ったの確認ということで、
0:35:24	会話しました。
0:35:26	次の 55 ページは万田の漫画を少し、イメージをですね、
0:35:34	つけていただいている、
0:35:37	これー、
0:35:39	そうかももとは左側は、
0:35:43	2 キロから 6 キロで 6 キロから 15 キロで、黒瀬のやつですね、こう変えていて、
0:35:50	それで上端 2 キロ、下限、
0:35:52	15 キロ。
0:35:54	でモデルを組んでパラメータ決めて、2.5 キロとかグーグル計算をそのまま、イメージとしてはそのまま、
0:36:02	ストンと、
0:36:03	落としている。
0:36:05	何で例えば上端を 2.5 キロでまた 6 キロのところ曲げるとかそういう、複雑なことは当然やってなくて、そのまま落としています。
0:36:13	右側の方もなんで今度は 0 キロから 6 キロまで客土と 6 キロから 15 キロまででもうちょっと寝かせて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:20	パラメーター決めて、それを 2.55 という形にすんと落としてる。
0:36:27	これは何ていうか、この絵の通り、
0:36:29	米谷。
0:36:32	はい。中部電力のモリサノ。
0:36:35	ご理解の通りで、津波評価上の検討なので、土木学会にそのまま従ってまして、単純に断層の上端というか、断層の位置をどの深さに置くかというような検討として、上下に、
0:36:47	そのままスライドして暮らしており、
0:36:50	はい、ありがとうございました。で、その結果ということで幅が変わっ。
0:36:55	両端が変わって幅が変わって、
0:36:58	面積が変わって滑り量が、
0:37:01	あってということ
0:37:04	滑り量は
0:37:06	カーン、小さくなるけど、他のところででかくなるんで、最後津波としては、
0:37:12	09 のケースで若干あったってところで、多少この辺りは、
0:37:17	土木学会の所を使う。
0:37:19	てやるとこういう、多少の
0:37:21	パラメータの違いなり、結果に若干の違いなりがありましたってことだと思ってる、
0:37:26	いじりようがない部分。
0:37:30	そうですね。
0:37:37	は、
0:37:38	国は、
0:37:42	最終結果のところも変わったものとか、ないものがあるので、
0:37:48	なのでちょっと後は、基本、この辺の話は前回は聞いてはいるので、
0:37:56	そうですね、ちょっと細かい解析結果なんかをですね、
0:38:01	1 個 1 個多分説明をしますとどこがどう変わったってものを、説明し出すと冗長なんだってことであれば、
0:38:07	端的に
0:38:09	まとめたようなですね、結果の数字こう変わりましたって最大の数値とかを比較してご説明をいただいて、
0:38:16	それ以外のものは 74 ページに最後一覧があるでそれ以降に、
0:38:21	言ったように参考でつけるとかですね詳細な

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:25	取りまとめ資料のイメージとして多分本編にしっかりと書いてるっちゆうことで、
0:38:29	コメント回答としてはです
0:38:32	あんまりコメント回答の中で、前回あったように詳細なものを、ルール説明すると。
0:38:37	そっちばっかりに目がいってしまうので、はい。
0:38:40	わかりました。
0:38:42	どうですか。特にコメント回答内陸地殻内のところでなければ、組み合わせの方できますしあればまた後で戻ってきてください
0:38:53	てちょっと補足で説明さしていたいたきたいんですが 61 ページ。
0:38:59	先ほどちょっと説明で詳しく説明してなかったの
0:39:04	中身を、
0:39:05	ご理解いただきたくて、前回名倉調整官からも、ご確認いただいて、
0:39:12	特に 12 号取水槽のところ上の、
0:39:16	1.8 っていうのが 1.7 にその 0 キロにした結果、下がったのではないかと いうところで、その辺の影響をオミットするっていうのはどうかと。
0:39:29	いうこともご確認いただいてまして、今回、細かく、
0:39:35	資料を出してまして、実際のところは、
0:39:38	前回の時が 1.72 の切り上げで 1.8。
0:39:43	今回が 1.700422 センチの差ですということ。
0:39:49	が、事実としての差で、前面の方では 1.6 メーターぐらい大きくなってる んですけど、取水槽 12 号取水槽のところは 2 センチ、
0:39:59	下がったという事実で、とはいえ、
0:40:02	活断層の影響としては西部の方が大きいということと、あと※で付して あるんですが、ちょっと今後また、対策のほうは実施していくんですが、 12 号取水槽、
0:40:14	自体はもう今廃炉措置やっててここのところっていうのは
0:40:19	1 平米に閉塞していくと、というようなところでより、ここの影響って多分 なくなってくるということも踏まえて、今回の土木学会という一定の、
0:40:31	評価手法に従うことが妥当であろうというふうに私たちは考えておりま すんでこの辺ちょっと何か考え方おかしいということであれば、
0:40:41	またご確認いただけるとありがたいです。
0:40:51	はい。
0:40:52	趣旨書いてあります。一応、
0:40:56	変わったわとかっていうので、あんまりこの上の四角、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:01	61 ページの上の箱書きのところに今みたいなことを書くほどではないけどうちゅうことですね。
0:41:07	※が振ってあったと、どこかそうだ思い出したどこかどのページだったか
0:41:13	なんかこう、
0:41:15	基準津波が決まったらば、
0:41:17	とか何か設計の話は今後とか何か、
0:41:20	どっかに何か注釈があったような気がします。はい。61 ページの下に、
0:41:26	赤いところの、
0:41:28	米印で 12 号取水槽に関しては今後、
0:41:32	基準津波の確定後っていう、
0:41:35	ところと、あと 13 ページにも同様の、要は、今の
0:41:41	ドライサイトのところってのが、
0:41:43	当然津波確定した上で、私どもとしての対応を、耐津波設計で説明していきますということなので、
0:41:58	あれか、18 ページか。
0:42:05	はい。中部電力の盛です。18 ページ。これまでも同じ文言プレート間地震津波評価の時も記載させていただいております、
0:42:14	特に敷地前面に 12.7 メートルという数字だとか 12 号水槽の 6.4 メートルという水の数値も、敷地の中に、現状の対策では水が入ってくような評価になっておりますので、減益で評価をしていると。
0:42:27	ということ、今後決まった後に必要な対応をしていくということを記載させていただいておりますので、それをここにも掲載させていただいています。
0:42:40	18 ページのこの左下の※1 の下にポツが追加されましたね防波壁に関しては、
0:42:48	これは、
0:42:50	一応 22.7 メートルっていう数字が上に出てるので、
0:42:54	何か入ってきてるんじゃないかと。
0:42:56	ということで、これは単純に壁を無限高さで出している数字なんで、
0:43:02	当然現状あるというか、
0:43:06	もともと申請してる防波壁は超えてるけれどもこれは、必要な対策をやりますだとかあとはさっき言ったですね、流路の
0:43:13	は、
0:43:14	実態上はもうちょっと死亡、死亡見ますという

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:17	はい、巡礼カワセおっしゃる通りで防波壁 22 メーターしかないんでそこが今 70 センチ超えていますので、
0:43:27	審査
0:43:28	適合性という観点ではドライサイトを維持するために、何か今後、津波高が決まり次第対策を、また考えて押せ、ご説明すると、で、
0:43:39	12 号取水槽も現時点では、
0:43:42	GL目が 6 なんて 40 センチ溢れているという評価になっておりますので、無限で、
0:43:48	は無限の壁で検討しておりますが、実際ここが書いてあると、先ほどのページにあった通りで、流量を縮小して、もう入らないように、
0:44:00	対策はしていきますよということで、ただ、まだ基準タイム確定してないのでそこまでの対応が決定できていないというだけの状況でございます。
0:44:14	はい。基準値波の策定も或いは選定の、
0:44:18	段階ではそれぞれの評価地点というか評価ポイントというか、取水口内、
0:44:23	ですね。
0:44:24	そこに影響の仮想なものをオオキもそうなものを選んで、あとは実際設計に応じて、設計の方で入力津波とかですね、必要な対策とかを、
0:44:34	必要な対策を決めてそれに応じて入力津波を決めるというか、
0:44:38	そういう行為をやりますよということですね。はい。
0:44:45	大井
0:44:47	欲しければちょっと組み合わせの方ですかね。
0:44:55	佐口さん。
0:44:58	規制庁佐口ですけど、
0:45:00	ちょっとやっぱり何点か確認というか教えていただきたい部分があって、
0:45:04	まず 53 ページですね。
0:45:09	一応状態については、御社は、
0:45:13	今回は、
0:45:15	この(1)の、
0:45:17	2 行目ぐらいですかね、1 ポツの 2 行目、津波評価上調査結果から上端、断層上端深さを設定する考え方は確立された試験がないと。
0:45:27	ということで、土木学会に基づくと。
0:45:30	されているところですね。で、
0:45:36	そうすると、今度括弧にいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:38	この傾斜角っていうのは、
0:45:41	何かこう、今のその、
0:45:44	周辺の、
0:45:45	この逆断層タイプのコウ。
0:45:48	何か断層とかを、参考なのかよくわかんないんですけどそれを、
0:45:53	に基づいて設定を、
0:45:56	するという考え方は、
0:45:58	津波上、津波評価上、
0:46:00	確立された知見はあるのかなのかというのと、
0:46:05	では、土木学会 102016 って実際にはこういう場合ってどういうふうに設定するみたいなことを書かれているかっていうのが、
0:46:14	多分、
0:46:15	どこにもないんですけどそう、それってどうなってるか、その関係を教えてもらっていいですか。
0:46:25	はい。中部電力の盛です。
0:46:28	確かに前回の審査会合でも議論したように断層上端深さについては我々ちょっと確認したんですけども、断層の上端が見えてる見えてないという話から、
0:46:38	0Jはなくて2キロにしろ、2キロにしてもいいとかっていうことの情報記載まではなかったということを確認しています。で、傾斜角については傾斜角がわかるもの、
0:46:50	についてはそれを使うことができるというようなことが記載があったということも確認しています。で、周りのものを合わせていいかということがちょっと今どこまで書いてあったかということは、
0:47:01	きちんとちょっと把握していないのにまた確認させていただきたいと思えますけれども、
0:47:06	思想としては今回 68 ページの方針のところ地震調査委員会 2020、
0:47:15	載せておりますけれども、ここと同じだとは思ってまして、
0:47:20	わかるものを、
0:47:22	右側の点線の箱のところですね、
0:47:27	の4行目5行目あたりからで、反射断面なんかでわかるものについては当然それを参照すると、わからないものについては、周辺で同じようなタイプがあれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:38	それを参照するというような順番になってますので、ここと思想は同じかなとは考えていますちょっと土木学会どう書かれていたかというのを確認して記載させていただきます。
0:47:49	はい規制庁さんですわかりました。これはもう、前回のヒアリングも含めて、そう。そういうことなんだなということを私はもう確認をしているんですけど。
0:47:58	あくまでも、この 68 ページっていうのは、これは地震評価、地震動評価上の話であって、津波評価上の話ではないので、
0:48:08	ちょっと、ちょっとその 53 ページのその上端深さの記載との関係で、
0:48:13	どうなのかなと思ってちょっとお聞きしたのと、
0:48:16	そうすると、
0:48:17	今度 54 ページですね。
0:48:19	54 ページやっぱりですね、
0:48:22	傾斜角っていうの、
0:48:24	接
0:48:25	ての、
0:48:27	一番いいですよ設定根拠が活断層調査結果を反映。
0:48:32	という形でされていて、で、
0:48:35	*に、
0:48:37	のところを見ると、これは、
0:48:40	地質調査によって断層面が確認できないことからっていう、これは何かその地質調査と、
0:48:48	活断層調査っていうのをなんか使い分けて、
0:48:51	いるんですか。
0:48:54	いや、もうちょっと言うと、これは、その周辺の断層、
0:48:59	等も、
0:49:01	何て言うんすかね。さっき言ったみたいな、
0:49:04	その傾斜角等を踏まえて、
0:49:07	設定とかっていう。
0:49:09	何か記載ならまだわかるんですけど、活断層調査結果を反映っていうの、意味がちょっとよくわからなかったのでもそこを教えていただきたいのと、
0:49:19	なぜこのアスタリスクでいきなりJAMSTECが出てくるのかなというところがですね。
0:49:24	私がよくわかんなくてそ、それも先ほどの津波評価上、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:29	どういう知見があって、
0:49:34	どう設定をします。
0:49:36	っていう話なのかなとか思ったんですけど。
0:49:39	いきなりここでJAMSTECが出てきて、
0:49:41	しかも念のためで、
0:49:43	45 度を通した場合の影響を確認を実施しますよということだったのでちょっとこの関係もよくわからなかったのをごを教えてください。
0:49:54	はい。中部電力の森です。まず今、ご指摘の 54 ページのところのところの設定根拠の記載はちょっと積載がちょっと甘かったなというふうに思っておりますので、記載を改めさせていただきます。
0:50:05	※2 の方で、もう少し正しく書いた方がいいかなと思います。
0:50:09	ちょっとこの部分は前回の本本編の方の
0:50:15	波源モデルの設定のところ、
0:50:19	基本モデルの設定根拠としてどうなってるのかというところでご確認いただいとるところであります。55 ページから、
0:50:26	西部、
0:50:28	518 等の設定小今のスライドですね、他の波源も含めて、
0:50:35	並んでいるページが、
0:50:37	あるんですけども、
0:50:43	はい。すいません本編の方の 55 ページです。
0:50:52	本すみません、何も書いてないというか、
0:50:57	すいません、地震による津波についてというだけの資料あるかと思うんですけども、はい。
0:51:03	はい。
0:51:05	で、前回説明させていただいてます御前崎海脚西部と並んで 58 と並んでいるんですけどちょっとこのすべて今、設定根拠のところ傾斜角のところちょっと全部同じになってまして、
0:51:17	58、少し経路が違ったので※を振らせていただいたんですけどちょっとその記載をきちんと設定根拠のところ記載させていただきます。
0:51:25	で、具体的なこの傾斜角の設定根拠ということで、59 ページからそれぞれ、どういう傾斜角の情報があるか。
0:51:34	60 ページで、58 でどういう情報があるかでどう設定するのかと。
0:51:40	いうところは、すいません、本編の方の
0:51:44	はい、5960 ページの方で説明をさせていただきます、
0:51:49	補足です。以上です

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:52	はい。規制庁田口です御説明については、わかりましたので、いずれにしてもちょっと今記載は、
0:51:59	正確でないというか正しくないので、そこはきちんとしていただきたいと思います
0:52:46	清です。同じ 53 ページなんですけれども、
0:52:50	結論とか考え方は了解してるんですが、
0:52:54	土木赤井 2016 を、
0:52:57	評価上確立した知見等まで持ち上げるという意図は何ですか。
0:53:04	他は何で今まで使わなかったんですか。
0:53:07	前回、
0:53:09	そこをご説明いただきたい。
0:53:14	コメント回答の 53。
0:53:22	アマノでございます。ご指摘ありがとうございます。ちょっと持ち上げ過ぎていきますので、表現の方はもう少し和らげさせていただきたいと思います。もともと同額が 2016 の考え方。
0:53:35	には従っていたんですが、0 キロの設定のところ拡大解釈していたところを今回、素直に取り入れたというところですので、少し、
0:53:45	まるで土木係が、すべての
0:53:49	トップにあるような書き方は、修正させていただきたいと思います。
0:54:04	はい。
0:54:05	で、これはアノてしょうがないことなんすけど同じ 53 ページ。
0:54:09	今回の説明右側に、吹き出しで(1)(2)(1)による修正っていうのはわかるんですけども浅利ックスで(1)(2)って書いてるのは意味不明なので、
0:54:23	どうかなと思ってるんですが、ホームページの方とは関係ないので、このコメント回答だけで、この吹出しがあるので、
0:54:31	どちらでもいいとは思いますが、
0:54:33	どうしてもこういうを書いてあると、欄外で(1)(2)を探してしまうので、
0:54:38	その辺ご注意ください、お願いします。
0:54:41	はい。中部電力の盛です。ありがとうございます。吹き出しをつけたのでちょっと下、括弧、(1)から(2)は削除する
0:55:04	はい。それでは、ちょっともう 1 点のコメントなんかイトウのナンバー 1 の方ですかね。
0:55:11	問 9 として、
0:55:13	24 ページから、
0:55:20	うん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:21	単点ちょっと 24 ページ言うと
0:55:24	文字が多すぎるというか、コメント回答概要に書いてあることと検討概要と何かほぼほぼ同じような説明の内容があったり、
0:55:32	ちょっと文字が多すぎるでこれちょっと後ろのか、中身を確認していくので、もう少し概要の部分は、元がよろしく。
0:55:41	端的に書けませんかという、
0:55:43	ことで、多分いろいろな検討やってることを縷々書いてくれてるんですけどね。
0:55:49	うん。何ていうかコウノ 24 でもいいんだけど結局 25 を使って説明して 25 ページの方が割と図ありと箇条書きでシンプルに書いてあるので、
0:56:01	何かあんまりこの 24 ページの文字をですね、図つらつらとご説明を聞いて、
0:56:07	でも結局、
0:56:08	25 ページでも同じようなことをですね、説明をしないと。
0:56:13	多分、この 24 ページのこの長い文章見てもわからんというふうになる。
0:56:19	と思うんで、
0:56:21	何度もやりとりしてる我々の間ではいいのかもしれない
0:56:26	はい。
0:56:27	ということなので、ちょっともうちょっとシンプルにして早目に 25 ページとかをですね使って説明いただくということで
0:56:35	の方がよろしいんじゃないかということでもあります。その上で、
0:56:40	ちょっと今回幾つかパーツを追加してもらってるんで、そういう確認もして聞きますけど、
0:56:49	25 ページの(1)の方の検討。
0:56:55	これは、
0:56:58	特に
0:57:00	(1)の方の検討って、まず 27 ページの、特によく知られてとかM8 クラスのこのアウターライズ。
0:57:10	の事例を出してかなりこれも数ヶ月数年とか、37 年とか 2 ヶ月とか大分、
0:57:17	時間軸の、そういう話です。
0:57:20	そっから今度M7 クラスまである程度引き下げて検討してますよね情報拾ってますよね。その間の部分で、
0:57:30	何とかM8 の事例が少ないんで津波が起こるなまで引き下げて検討してみましたとか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:36	ちょっとそういう何か二段階何かあるのか、とりあえずコウM8 のものは1 個例として挙げたけど、もう初めからもM7 の以上の津波を起こすような、
0:57:46	アウターライズの、
0:57:47	発生状況を整理しようとしているのか。
0:57:51	ちょっとそこら辺がですね、25 ページ見ると、
0:57:55	あんまりそういう差がなくですねMWアノ。
0:57:58	もう、いきなり 2011 年投光器の事例 40 分であるがというのがあるんで、この時点で多分M8 ぐらいの、かなり階級のものじゃなくて、
0:58:08	M7 クラス以上のものを広い始めた検討を書いているんで、
0:58:12	あんまり何か二段階をやられようとしてる。
0:58:16	そもそも新しいってかなり事例も少ないし、こういうもんなんだけれども、もうちょっと事例を集めるためにムラタまで引き下げて、津波が発生した遊佐まで引き下げて検討しますとか、
0:58:27	そういうようなお考えというよりももう初めから、
0:58:31	ある程度津波を越しそうな、与えずっていうことで検討してるっちゃうことでいいのか。
0:58:37	ちょっとそこら辺ですね、
0:58:39	論理展開をちょっと教えてください。
0:58:43	はい。中部電力の森です。今の資料の考え、
0:58:48	構成の考えとしては 27 ページのM7 以上のちょっと前に記載させていただいてます。津波は基本的に津波評価上の話なので松波をカセさせる。
0:58:59	可能性のあるM7 以上の大地震の発生状況を調査していこうという趣旨で検討しています。で、※1 の方で、前回も少し、
0:59:09	お話ありましたけれども、M7 以上だとそれなりの津波が発生してくれというような話もあるので、M7 以上をまず見ようという趣旨でございます。
0:59:18	ちょっと今のお話で太字の部分をもう少し広げた方がいいかなと思います
0:59:23	はい。以上です。
0:59:28	はい。
0:59:28	わかりました。何ていうか
0:59:32	御社として特にこのそもそもM8、
0:59:35	プラスのかなり海域本社でいうと多分M7. 幾つぐらいですかねお前想定御前崎とか銭洲とかで見ているような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:42	ぐらいが相当するんだと思うんですけど。
0:59:44	いやそういう規模のものはそもそも、
0:59:47	2ヶ月とか37年なんですっていうことを何か一つそこで1回、
0:59:53	線を引こうとしてるわけではなくって、もうそこは広く、あんまり
0:59:58	それよりちょっと小さい疑問だってあるのかみたいな話が結局出てくるので、
1:00:02	ここはもう広く津波が発生しているマナベ7以上のもので検討しましたと。
1:00:07	その導入で広く知られてるものでこんなものがありますよっていう、それだけの扱いですかね。
1:00:13	わかりましたであれば25ページのところで言っているのも、はい。
1:00:21	はい。はい。中部電力の盛です。27ページの事例は有名なというか、アウターライズ地震が有名な日本海溝の事例でして、
1:00:32	我々が検討してる南海トラフ右側の図のような、ここまで海洋プレート内が厚くないっていうこともあってそもそもM8が起こるような場ではないというような説明をさせていただいてます。アミノで、
1:00:43	これはあくまでも日本海溝の事例ということなので、その他のところでどういうふうなものが起きてるかという中では、津波が発生するM7で、今回は整理を
1:00:53	はい。おっしゃるように、多分、御社のところでこういう何かM8とかって話をしても、そもそもがないので、
1:01:00	確かにそういう二段階の論旨、論理展開、
1:01:03	しにくいってというか多分しようがないのかもしれないんですけど、
1:01:06	わかりましたじゃちょっとまず枚①のプレート間地震後の別の地震の発生状況っていうことで、はい。
1:01:14	これについてですよ。いくつか、
1:01:20	情報整理、
1:01:22	行って、それから28ページとか少しわかりやすく津波が発生したものとか、
1:01:28	少し凡例はややしようがない複雑になるのは、
1:01:33	がないんですけど、
1:01:36	ちょっと待ってください。これちょっと凡例を細かく教えてもらっていて、
1:01:42	図の中の点線はこれ装荷もともとの、
1:01:45	本後本体のM9クラスのプレート間で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:49	黒丸がいっぱいある中で青丸、青い線で丸が囲ってあるやつが、
1:01:55	これは松波が発生
1:01:57	性したもの。
1:02:00	右側の下の表のところ2なんか、点線。
1:02:05	青点線枠でハッチングかけて
1:02:08	青文字で書いてあったり、実線の太字だったり、太字じゃなかったりって いう、
1:02:15	これは、
1:02:17	音信コウノMW最大のものがあって、
1:02:21	最短の、
1:02:23	最大規模が太字で最大が落ちた、最短が牡鹿。
1:02:29	ちょっとこれは、
1:02:32	パッと職員の人にわかるように、
1:02:34	説明の仕方は考えていきますけど、
1:02:45	ちょっと、そうですねなんかいろんなページでいろんな表現の仕方がある とそれぞれ困るんで、
1:02:51	青塗り潰しとかちょっと青線とかの回るは何か気づきにくいかもしれない ですね、これ。
1:02:57	パッと見て、はい。
1:02:58	すいません谷これあの岩井だけの話ではあるんですけど、
1:03:03	これは前回から情報があって実際に少し津波があったようなものとなか ったものと、ということで、なかったっちゃうかあったものは確認できたけ ど、ないものはよくわからんちゃうことかもしれません。
1:03:16	スマトラとか投光器とか、
1:03:18	アラスカちりカムチャツカ。
1:03:20	28 ページにあるようなものは、これは、
1:03:24	割と、
1:03:26	1900 年以降なんで、
1:03:29	こうで 2000 年代とか、
1:03:31	なんで、これは逆に言うと黒い丸のものは、
1:03:35	津波が起こってないのかな。
1:03:39	もっと古い、数百年とか、古いものになるため古文書みたいなところにな って
1:03:44	あれですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:45	ここは割とおこ津波が発生してるしてないみたいなところも含めて、割と正確なんですかねこれ。
1:03:51	Nを。
1:03:53	津波データベースによる。
1:03:55	津波が発生したもの。
1:04:00	はい、中部電力の永松です。
1:04:02	江藤アノ、やはり数の方のデータベースにあるものというものはある程度、
1:04:09	上がってきてはいるんですけど上の※にも書きました通り、1150 から60 っていうと、若干やっぱり観測記録としては弱い部分があるのかなとは思っています。ただ、記録としてあるものは網羅して、ピックアップさせていただいてはいます。
1:04:32	はい。その次がこれ御社の周りのところで 29 ページですかね。
1:04:39	これは、
1:04:43	でした。
1:04:50	こっちは
1:04:52	津波が発生したか発生してたかみたいな話をしだすと、
1:04:57	ここまではさすがに、
1:04:58	わからんということですかね。
1:05:01	その上で、
1:05:04	ちょっとこれも、
1:05:07	小口さんとこへ、これ 82 年の
1:05:11	慶長。
1:05:12	1605 年の慶長地震で 80。
1:05:15	1 年後に、
1:05:17	起こってますけど、この辺りのものってあんまり実際これ谷起こっ。
1:05:22	ているっていう谷ファクトを変えてるぐらいで、あんまりその関連性だとか何だとかっていうところも、特にはわからないんですよねここは。
1:05:31	こっちは。
1:05:35	はい。中部電力の松尾さんおっしゃる通りちょっと関連性というところをはさすがにわからないんですけどもM7 以上というフィルターをかけてピックアップされるものはすべて洗って示してますという、
1:05:47	それだけのデータとなっております。はい。
1:05:54	はい。
1:05:56	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:57	もうたらどうだろうな。
1:05:59	プレート、
1:06:05	あんまり、何も書いていないからと言えはそうなのかもしれないですけど、
1:06:09	特にだからこれらの中で、
1:06:11	今、29 ページにあるもので、特にこの本震との関連性を何か言われてるものって何かあるんですか。
1:06:19	特にない。
1:06:20	多分何も言われてないっていうのが正解なのか。
1:06:24	なんかこの中でも特に何か関連性があるみたいなことって言われてるものってあるんですけど。
1:06:33	ないです。中部電力のリスクっていうところなんだと思います。実際のところはわからないということなんでしょうけども 29 ページで言うと安政 1850 年の安政東海地震の後の 11 ヶ月後に起こった地震、
1:06:47	だったり、44 年の後の、40 年すいません違いますね。1850、54 年のセト開始の後のものは
1:06:58	安政東海の後最大余震だというふうに言われていたりします。はい。
1:07:05	はい。もうしょうがないっすね。はい。
1:07:09	ミナミでも、これらって、
1:07:11	位置的には次の 30 ページの、
1:07:14	M6 に、ちょっと数があるんですけど M6 にしてみても、
1:07:20	これは、
1:07:22	何かもう完全に、
1:07:25	何だろうな、プレート間地震は数 m6 以上の地震。
1:07:29	って言ってかなりなんか場所としては、新法としてはもう完全に陸地なんです。
1:07:34	これは、
1:07:37	口なんだけど、
1:07:39	高齢は何かどういう抽出の仕方をしたんですかねこれ、南海トラフのプレート間地震の波源域の。
1:07:48	中におさまるもの。
1:07:51	もう探してきたわけでもないんですよ。
1:07:59	あれ何でしたっけ、これ完全に何かその新信号の位置からすると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:04	あんまりそのウタはないです。アウターライズそもそもないんでしょうけど、南海トラフのところに、
1:08:12	はい。中部電力のモリサノこちらのアウターライズも含めて、上の箱書きに書いてありますように、プレート境界は伴下盤を、ちょっとそこもわからないということありますけど、で発生した余震ということで集めています。
1:08:24	なので南海トラフの波源域、もしくはその沖合、周辺で起こったものについてすべてピックアップして今
1:08:33	はい。
1:08:34	わかりました。統一そうか震源深さがわかってないものも多々あるので、
1:08:39	何か結局は番なのか、下盤なのかも、よくわからないんで、もうそこはしようがないっちゃうことですよね。
1:08:45	広井はいはい。
1:08:46	ただ、M6 以上に拡張してみても、
1:08:50	どうかというふうに見たけれども、
1:08:52	それでも1ヶ月後だったり、
1:08:54	そもそも、結局は、M7 以上の
1:08:58	81 年後だ11 年後だというようなものしか出てきませんで、
1:09:02	ところで、ここは一応位置付けとしては参考って書いてあるので、津波を起こすエミ 70 以上で拾ってこうだったんだけど、念のためもうちょっと規模の小さいものをさらに深掘りしてみたけれどもあんまり変わりませんでしたと。
1:09:15	ということですかね。
1:09:25	おい。
1:09:26	次の 3、11 ページから今度すみません丸。
1:09:30	2 になるのすみません②の考えをまた戻って、
1:09:36	いくと。
1:09:37	25 ページか。
1:09:40	ここは、
1:09:42	あんまり変えてないですねここは丹に、
1:09:46	どういう断層タイプが
1:09:48	分布して、
1:09:50	それが、いわゆるプレート間地震が起こった時にはどういう緩和、湯浅より、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:57	増幅じゃないのは起こりやすくなるのか緩和されるなのかっていうところでここは文章としては、
1:10:02	端的に書いてあるかなと思います。
1:10:05	それをすいませんっていくとですよ。
1:10:11	31 ページかここはあんまり変えてないから、
1:10:16	これ、すいませんこれ。
1:10:19	途中で説明の時前から聞いとけばいいですよ、これって。
1:10:22	2019 のこの調査やってくれ。
1:10:24	なんて言えばいいんでしたっけ。これ単純に、単なる質問ですけど、じよよ所、はい。我々は上と呼んでます。
1:10:38	誰もその場で突っ込みがなければ、以上なのかもしれませんけど、
1:10:43	はい。
1:10:45	一応、まあまあ、これ以外にも広くは言われてる話なんで、ここでは、
1:10:53	は坂知志。
1:10:54	イシタ番とも引っ張りの、
1:10:58	作用が、
1:11:00	働きます。
1:11:04	今までは言われてるのかな。
1:11:08	で、正断層が分布する場合にはその活動が促進される方向となり、
1:11:15	ていう、このなんだ、30 ページ上の箱書きこれはだから書いてあることをそのまま、特に御社なりの解釈なりそれを使ってどう言いたってのはなくてこれはもう書いてある通り、
1:11:27	はい。なの
1:11:29	そういうものは非文献なんかで言われています。
1:11:35	いいかな。
1:12:00	はい。
1:12:01	さあん。
1:12:03	11、
1:12:05	ページは、よく
1:12:08	多くて、
1:12:10	32 ページも、これは、
1:12:15	マイナーチェンジか。
1:12:20	管理ファクトとして逆断層型地震は発生してませんっていうのを左側に、
1:12:25	明示的に書いたりっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:28	何ファクト追加ぐらいですかね、沈み込む。
1:12:37	うん。
1:12:59	ここもファクトだからいいか。
1:13:03	30
1:13:04	で、どっち 33 ページですかスマトラが。
1:13:10	追加されて、
1:13:17	本村のときは何だっけ、ガイドに書いてあるのはそっか横ずれだけ横ずれがなんか確か開度では例示されてたけれども、
1:13:26	ウワー。
1:13:30	33 ページNoん、4 番、5 番あたりがどっちかが横ずれか。
1:13:36	子連れか。
1:13:37	この辺横ずれなのかな。
1:13:39	逆断層型じゃなくて、
1:13:42	横ずれが促進されて横ずれが起こってますナンバー逃がそうか正断層で、
1:13:49	それ以外が横ずれで、
1:13:52	お客さん、
1:13:56	ちょっともう、
1:13:57	こっちだ。
1:13:58	泉方向身長圧縮横ずれ。
1:14:10	スマトラの
1:14:12	ナンバー134 号は、創価上側で言うところの、
1:14:19	No.5 は若干微妙か、微妙ってほどでもないのかな、一応この促進される側の沈み込み方向身長の横ずれ、
1:14:27	これで促進されて起こりましたっちゃうことでこれはいいのかな。
1:14:33	圧縮を、若干ナンバー5 は完全に綺麗にね、
1:14:39	慎重横ずれ真横じゃないですけど、傾向としてはそっちの部類でいいんですよねこれ。
1:14:45	はい。
1:14:47	中部電力の盛です。左、右側の方に
1:14:51	沈み込み方向と、
1:14:53	横ずれの伸長なのか圧縮なのかっていうようなポンチ絵つけさしていただいてますけどこれの上か下かどちらかといえば下の方かなというふうに判断しています
1:15:08	んだ、ナンバーツーは正断層型で、ほぼ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:14	で、
1:15:15	促進される方向のブルーに、すいません、あと、
1:15:19	すいません。江川の家は、の促進される方というふうに判断し、すいません間違い
1:15:32	今 33 ページ。そう。
1:16:34	32 ページの右側の表現もおんなじかな。はい。
1:16:41	なんで、圧縮が単独起こるような、
1:16:46	例のものは、
1:16:48	オオクボ期もそうですかねNo. 6 とかも綺麗な、
1:16:52	慎重沈み方向伸長型の方の、
1:16:56	これは横ずれですシマ他も、
1:16:58	何だろう。
1:17:00	ナンバー5は何。
1:17:03	色のつき方でいくと、
1:17:07	令和どっち。
1:17:09	はい、衛藤ナンバー5 はですね圧縮型逆断層だったんですけども、下盤の深い領域、深さでいうと、
1:17:20	50 から 68 とか書いてますね。だから、
1:17:24	はいはいはいはい。はい。ちょっと今回のスコープたちがこの辺の表の下の点のところの深い領域は、
1:17:32	という注釈をつけさせていただいてるその断層に、
1:17:35	深いところなんで、ハッチング
1:17:40	グレーにしてて、起こってる揺れない上で起こってるといえば起こっているの、リストアップはしてるけれどもちゅうことで、そもそもは、
1:17:50	はい。
1:17:51	中部電力のモリサノ 31 ページの方でも、そのメカニズムが、城さんの方でも書かれておりまして、左の図の、
1:18:00	海溝軸付近の輪はバーも下盤も伸張作業なんですけど深い方ですね、プレート境界断層の緑の線の後ろの方のスラブ内圧縮になりますのでこの辺では縮型の方が、
1:18:12	発生すると、で、津波評価ではこの領域あんまり関係がない、津波発生させないような領域になりますので、今回スコープトラフ軸付近の方に基本的に絞っているということです。
1:18:22	はい。ここで言うところの、なんだろう。
1:18:25	左側のCとかPと書いてあるこの辺りと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:29	はい。
1:18:30	わかりました。そうか。これも、
1:18:33	事実関係ですかね。
1:18:37	スマトラの方のガイドで、特にこのプレート内とかの方で、例示で上がってるような、
1:18:45	日本海溝とあとスマトラのところをまたしてもらったんでファクトとしては、
1:18:50	出されたかなと。
1:18:52	その上で、
1:18:54	次の 34 ページは、あんまり変えては、
1:19:02	ないですね、これ。はい。
1:19:05	これは
1:19:07	は、それぞれ右腕した場合にどんなものが分布するかなんで、
1:19:11	3435 は、
1:19:15	あんまり変えてないというか変わる必要性もないので、30、
1:19:22	6 ページを、
1:19:25	と帰ったので、
1:19:32	もうたり、
1:19:36	あれ前回のヒアリングのところで少し何だ、
1:19:40	逆断層型だからっていうと何か逆断層の向きがちょっと違ったらみたいな話は
1:19:46	研究部門から実際人間もありますからもコメントありましたけど、その辺りって結局最後どこがそれ直されたんでしたっけ。
1:19:57	はい。中部電力の逆断層だからというよりは結局その先ほどの陸オオキ方向の慎重なのか圧縮なのかという議論ですので、
1:20:07	そういう意味で先ほどの 32 ページの下のポンチ絵見ていただくと、
1:20:13	基本的に
1:20:15	例えば正断層であれば、端の方は黒くなりますので増し、どこを向いても慎重にはなりうると。で、
1:20:23	下側の逆断層でいうと端の方は白くなるのでどこ、どういう方向を見ても縮にはなり得ると。で、議論としては横ずれ断層みたいな時にどういふ判断をするのかということが沈み込みの方向との関係になってくるということだと
1:20:38	前回の議論はそのように認識してまして、その沈み込みの方向を今回

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:44	先ほどの図もそうですし、36 ページの方にも入れさせていただいています。で、その上で横ずれについては、伸長型なのか圧縮型なのかというところで判断がありますので、
1:21:00	せ、
1:21:01	遠州断層系について先ほど説明したように、真ん中の表の下のところに、判断理由を記載させていただいています。
1:21:22	ちょっとこの、
1:21:23	36 遠州断層系のところの注釈表の下に何か⑤遠州断層系はっていうふうに、
1:21:31	されたんですけど、ちょっとパッと、
1:21:33	見て何かこれをどういって、これを書いているのかが、
1:21:39	どんどん整合していると、逆断層と、
1:21:43	天竜。
1:21:45	海底谷、宗断層と合わせて評価
1:21:49	評価をし、
1:21:52	はい。中部電力の盛さん、こちらもいいですか。はい。ちょっと先ほどの議論で圧縮型なのか伸長型なのかというような整理に記載を再、
1:22:04	さらに追加させていただくとわかりやすくなるのかなとは思っています。
1:22:08	逆断層も当然圧縮で、できるものということと横ずれ断層についても、
1:22:13	ミキ横ずれなので、この緑の線との、の圧縮で右に横に、右が下になるようにずれるというのが普通にわかるということと、
1:22:24	本編の方でも、滑り角の検討のところ、沈み込み方向での圧縮によって、この滑り角の方向とは整合的になるってことでご説明させていただいていますので、
1:22:35	そういうことを考えると圧縮型の断層だということが、
1:22:39	説明できるというふうに思っています。ちょっとその辺りをこの右側に最アノ脚、どういうふうに行っているのかということの我々の圧縮なのか、慎重なのかというのを追加させてもらう。
1:22:54	もう少し見やすくなろうかなと思いますので、
1:22:57	もう少しわかりやすくなるように検討させていただきたいと思います。
1:23:06	はい、わかりました
1:23:07	はい。
1:23:11	横ずれだけでも圧縮は出野 5 区ってかつ形成されるものなんっていうことで一括で扱いますよっていうことだけ。はい。
1:23:19	端的にわかればと思います。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:24	そうすると、
1:23:28	最後のまとめですかね。はい。
1:23:31	一応、
1:23:39	もともとそうですね、一応 01、33.01 でこれはさっき書いてあることと同じなんで、
1:23:46	一応そもそもということで一応プレート間地震後の別の地震の発生状況特に津波を起こすような
1:23:53	M7 以上の地震について発生状況を確認して少し短い間隔のものもあるけれども、
1:23:59	大半は数ヶ月数十年の間があるということで、割とオーダーが長い話と、
1:24:05	さらに言えば御社の南海トラフ
1:24:08	のところで、
1:24:10	どういうその断層が分布しているかとかっていう
1:24:13	どういう場なのかっていうですねそれがプレート間地震の、
1:24:17	ものを新調作業時どうなるのかという地学的背景を精査すると、これはこの二つで組み合わせなくて良い。
1:24:25	はい。
1:24:26	これが 1 点目の方ですね。もう 1 点目は、組み合わせマスの方で、
1:24:34	ここは根井
1:24:36	何を出してきたかという一応いろんな図面は、
1:24:43	幾つか、40 ページとかですかね新しく足してきていて、
1:24:56	麻生香澄ササキにこれもさっきのように聞いた。
1:24:59	39 ページの右側これ、
1:25:01	これも毛利部。
1:25:05	これ、
1:25:06	背後で取り上げないかもしれないですけど。はい。コラムアトム有井です。
1:25:12	左下の小出。
1:25:15	これはカノウ。
1:25:19	ムラタはわかるんですけど、これ。
1:25:21	有井の
1:25:21	カノウ。
1:25:23	とりあえず、
1:25:29	著者のちょっと名前を間違える。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:31	非常に恥ずかしい。
1:25:33	はい。で、出してきたのは 40 ページですかねえ。
1:25:37	これは、
1:25:40	もう少し良いですか。
1:25:41	どこを切ってるかという、
1:25:46	ワンラインII
1:25:50	なので、
1:25:54	分岐断層とあとは
1:25:57	内陸地殻内地震の活断層と、
1:26:00	大体の位置関係は 1、
1:26:05	あと、
1:26:08	は
1:26:10	一応こういうファクト持たしはしましたと。
1:26:22	で、
1:26:23	こっちは、42 ページに分かれてあんまりちょっと上の、
1:26:28	文章が長いところもありますけど、
1:26:32	分岐断層これトラフリング式の配布型に形成された構造で、
1:26:38	隆起地形と関連性がある。
1:26:41	で、
1:26:45	内陸地殻内、付加体には分布してますただ外力期待と陸側の古い付加体で、
1:26:53	伝播する知見はなく、
1:27:05	内陸地殻内地震断層の方は、プレート間地震の破壊伝播を示す知見はないから積極的に破壊伝播を示すような知見はありません。
1:27:15	国とアノ会が全く伝播しメンバー審議しないんですという知見もまあ、どっちもないっちゃうような意味で、上は、分岐断層の方はまあそういう積極的に、
1:27:26	赤い電報シミズ試験というのは普通に言われてるものがあるんで、
1:27:30	下は下もなく不可もなくという、
1:27:34	というような形で理解でいいですかねこれ。
1:27:39	はい中部電力の永松です。おっしゃる通りの理解でよろしい結構です。はい。
1:27:45	そうすると分岐断層の方は関連性があり、て組み合わせを行う。
1:27:51	と言っているけれども、
1:27:54	でもこれプレート間地震の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:56	代理で扱ってるんですね。
1:27:59	何か改めて、何だっけ、ケース。
1:28:02	基準断層モデルBじゃなくて、検討波源モデル上どっちだ。
1:28:07	Bですよ。Bで、
1:28:09	Bのときには海溝軸付近が分岐断層がに乗り移らせてルジャン
1:28:15	ですか。
1:28:15	別にAとかDのモデルにさらにこの分岐断層を組み合わせるとかそういうことじゃないわけですよ。
1:28:21	うん。
1:28:35	これはもう、
1:28:37	現状もプレート間地震の中にこの分岐断層というものは組み込まれている。
1:28:42	はい。
1:28:48	内陸地殻内地震の方なんで分岐断層と、
1:28:52	同じように積極的に破壊伝播するかっていうとそういう知見もないので、
1:28:57	伝播しないと考えられる
1:29:02	そこが、
1:29:07	社会伝播を示す事件はない。
1:29:11	それに加えてそこが飲料期待と健常の類型との関連性が認められないので、
1:29:18	積極的に起こるとい知見もないし、
1:29:20	それプラスこういう情報から、
1:29:23	伝播しないと考えられるが、
1:29:26	宇和湾の付加体の複雑な構造を考慮する。
1:29:37	何か持って回っているような気はするけれどもここはだから関連性ありと判断します。
1:29:42	下盤側は、
1:29:45	分岐断層オオバのトラフ軸付近の方に形成される構造であり付加体内、
1:29:51	北伴では、分岐断層みたいなものを何か下盤に分岐するようなことは、そもそもありません。
1:29:58	そこはうまく率としてそうだ。
1:30:02	こっちがプレート間地震の破壊伝播を示す知見事例はない。
1:30:11	これは上盤側分岐断層がそもそも破壊伝播を示す知見があって、
1:30:17	それよりは少しダウンだけれども、ほぼ同じように少し付加体内部の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:23	構造でき上がってるもんなんで、上盤側この内陸地殻内地震の断層も紐付けます。
1:30:29	でしたそもそもそういう分岐断層自体がないのだから、
1:30:32	プレート間地震の下盤側ですね破壊伝播Smith元事例がなくて、
1:30:37	そもそもそのひもづけるというか、
1:30:40	相手ような分岐断層自体がないから、こっちは事例がないことをもってやらなくても
1:30:46	よかろうと。
1:30:50	その上で、もうない各府 2012 が、さらにプラスアルファされる上ですかね、実際にちょっとこういうようなものでも想定はされてないです。
1:30:59	しなくて良いとまでは言っていないかもしれないけどと、はい。
1:31:04	はい。中部電力のモリタのご理解の通りで我々、内陸地殻内地震を組み合わせとしてやるということにしてルー理由のまずとしては分岐断層があるからということにして、
1:31:17	今の 42 ページのところでは分岐断層ってどうやって認定してるのかということで、まず、付加体内部に形成される構造である
1:31:26	とか言われて、
1:31:27	と。
1:31:28	あとは、バッファ開電波を示し、いわゆる分岐断層だっという知見が、文献のような知見があるのかないの。
1:31:36	と、
1:31:38	地形的な構造との関係があるのかないのかということのをこれまで、
1:31:42	して、今回スライドも、改めて、40 ページに追加させ
1:31:47	衛藤内陸地殻内地震の断層はその関係で、場所がそもそももう少し深い陸側のところに、
1:31:55	ガイドであるようなトラフ軸付近とは違ってもう少し陸側にあるような断層であると。
1:32:00	ということと、
1:32:02	分岐断層だという知見がないということと隆起地形との関連を認められないということで基本的には組み合わせる必要はないというふうに考えているんですけども、前回の、
1:32:12	ヒアリングの議論があったような 39 ページのですね、
1:32:15	宇和版で、付加体が複雑に変形していてその中に分岐断層が形成されているということを考えると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:23	一部なり、もうびた一文破壊が伝播しないということも言えないんじゃないかということを慎重に考慮しているというこ
1:32:32	で、一方で下盤の方は、分岐断層ってというような知見がそもそもないということと、あまりこういうような付加体の変形みたいな話とも関連がないと。
1:32:41	ということなので、事例がないということ踏まえ、含めて、関連性がないと
1:32:53	大井。
1:33:02	あ、そうだ。それですみません前回は最後聞いたかもしれんけど、この一番下の内閣府 2012 参考って言うのは、
1:33:12	これは最終的に、
1:33:17	下盤側の方の付則Aの箱書きだとなお書きなんで、
1:33:21	下側の方のプラスアルファの補足として使っているということいいんですよねこれ。
1:33:31	はい。中部電力の森です。ご理解の通りです。
1:33:35	はい。
1:33:36	並みに言うと、
1:33:39	要は上盤側の方って草加内閣府 2012 だと。
1:33:45	分岐断層は込み込みになっ
1:33:48	てるんでしたっけ。
1:33:50	あまりそこら辺触れてないのかな。
1:33:57	はい。中部電力の盛です。分岐断層の評価も内閣府の最大クラスモデルの中で検討されてまして、我々が検討波源モデルBとしてやってるって感じですね
1:34:07	そこ止まりで、内閣府 2010 でもそれ以外の分岐断層以外のものにまで何か手を広げてっていうところはやってないわけですよ。はい。
1:34:17	中部電力の梅津はい。おっしゃる通りで、見られてるものは評価していると。で、そこにはないものは分岐断層として評価していないと。
1:34:26	はい。
1:34:27	の上で、この下にあるような、3、内閣府 2012 参考って書いてあるように、
1:34:33	何かことさら、何かそういうことを記載してるわけじゃなくて、
1:34:37	内閣に特段言及がされてないから、であれば言及されてないものを使いよう故郷がないので、研究されてるのはこういうアウターライズみたいなものを想定しないこととしますよというのは、これはっきり書いてある。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:50	はい。
1:34:52	わかりました。
1:34:53	はい。
1:35:03	ある程度、ちょっとスマトラの話だとか、少し基本情報ですかね。
1:35:09	情報の方は大分、
1:35:12	してもらってるので、冒頭の
1:35:17	書きぶりですかね、ちょっと、
1:35:20	概要みたいにまとめるとかもっと端的に書くかも、
1:35:25	すぐに次 25 ページとかですね、20、25 ページかな、26 ページか。
1:35:31	25 ページが 26 ページとか、こういうようなところに、極力早く話を飛ばしてしまった方が、
1:35:36	いいと思いますので、はい。
1:35:38	ここ書いてある内容っていう、
1:35:40	24 ページの下の検討概要という内容と、
1:35:44	多分 25 ページとか 6 ページとかって説明してるところが、
1:35:48	オオオカ呉かぶるんなら何か本当にコメント概要等概要、もうちょっと膨らませて、
1:35:54	こういう二つの視点で、
1:35:57	検討しましたこういう検討しましたっていう。
1:36:00	中部電力 Mori 25 ページは図化したものでそれを書き下したものが 24 ページになってますのでちょっと入りとしては 25 ページのようなものから入らせていただいて最後に文字で書き下したのも置いてありますというような、野瀬の実際の説明をちょっとさせていただくので、構成させていただきます。はい。
1:36:18	ちょっと何か 24 ページの文字でずっと止まって読み始めるとですね。
1:36:22	はい。あるので、これまで何回か確認してますし、いろんなファクトを出してもらってるんで、
1:36:30	と思いますけど、
1:36:33	あと、やっぱり 25 ページのところで、ごめんなさいねもう 1 回、
1:36:37	フチセ時間間隔は最悪 40 分であるがっていうのは、一応ここは調べたファクトの中で最短のものとして、
1:36:47	ファクトとしてはファクトなので M7 以上でっていうことで、
1:36:50	ここから含めて、
1:36:53	太字で書いてあるっちゃうことですかねこれは。
1:36:57	いきなり多分 M。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:58	数ヶ月後から数十年の間があるとだけなんか太字を書くと、ややファクトとしてはもうちょっと短いやつもあるだろうというふうになるので、
1:37:06	事実としてこうこうだというところを、調べ上げた結果を変えて、
1:37:15	はい。10 電力のご理解の通りで、①番だけで我々会プレートはやらな いってことを否定できるというふうには思っていないので、一般的な事例 として、
1:37:28	こういう事例があるので、一般的には重なりにくい領域にいるんだという ことをまず整理させていただいた上で、②番も含めて、関連性がないと いうふうには評価をしている構成にしています。
1:37:41	はい。そうですね。①番だけだとどうしても、
1:37:46	いやいやもうちょっと早いやつがあるかもしれないじゃないかと上昇が わかんないけど花崗岩は少し影響が引き波が収まってないで起こる 可能性もゼロ%ではないだろうとかです。
1:37:56	そういう話は常々ついてくるので、
1:37:59	もうちょっとその辺りを、地学的背景も含めて、②で、しっかりと検討して るっちゅう。
1:38:06	で、はい。組み合わせる(2)のパターン、(ウ)ババのパターンですね。
1:38:11	それとの違いもあるし(2)の中でも宇和番下盤の、
1:38:16	檀の違い、あれ、そもそも期となるのは結局最後のところ分岐断層なん で、
1:38:21	はい。
1:38:22	この辺の話は御社、分岐断層がかなり発達していて組み合わせパター ンなり、地震動での連動とかもやってるので、
1:38:31	少しこの辺りを丁寧にやるものやらないものっていうところかなり丁寧に ファクトを整理してもらっていますけど、
1:38:38	はい。
1:38:39	根井。
1:38:40	塗装。
1:38:42	ねえ。はい。
1:38:44	よろしいですかね。
1:38:52	ちょっとあと、少し資料のつくりとかこの文言のちょっと適正化とか、前回 ヒアリング 25 日で資料 1 日出していただいているので、割と早目に ファクト整理してもらっているんで、
1:39:04	ちょっとこれをうまく、
1:39:07	方法こういう内容で会合にはかけて議論

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:10	事実確認方法、進んでいるので、
1:39:13	間をかけていくことにはなりますけど、ちょっといま1度、その細かい表現とかがあっていうところは、
1:39:18	御社の中でもしっかりチェック、御社の中でしっかりチェックを
1:39:21	いただければと思います。
1:39:25	ちょっとありますか。他、今野大和。
1:39:29	特に、
1:39:30	コメント回答資料で説明をして、そういうものを企業の本編とかアノ則にそれぞれ、
1:39:38	書いてありますということで、多分説明は、コメントは確か使わない。
1:39:42	はい。
1:39:43	ここは特になければスケジュールの話をお伺いしようかと思い
1:39:48	いいですか何かあればちょっとスケジュールの後にでも聞いていただいて構い
1:39:52	スケジュールの説明をお願いします。
1:39:55	はい。中部電力の尾川です。
1:39:57	基準地震動基準津波等の審査対応スケジュールについてご説明をさせていただきます。
1:40:03	まず3ページのところをお願いいたします。
1:40:08	基準地震動に関しましては前回、9月29日の1191回審査会合で、
1:40:14	基準地震動の策定について審議いただきましたのでその結果を反映しております。
1:40:21	今後は超過確率の参照の説明を行っていきますけれども、
1:40:25	1191回審査会合でいただいたコメントを踏まえまして、免震設計に用いる耐震設計と共通の基準地震動について、地震ハザード解析における一様ハザードスペクトル、
1:40:37	との比較から、やや長周期のスペクトル形状を適切に設定していることもあわせて説明していく予定としております。
1:40:45	続いて4ページをお願いいたします。
1:40:48	こちらの基準津波に関してですけれども同じく9月29日の審査会合の場で、地震以外の要因による津波の審査、
1:40:57	審査していただきましたのでその結果を反映しております。
1:41:01	次回の審査会合では、本日ご説明させていただいてます地震、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:06	による津波としてプレート間地震と海洋プレート内地震の組み合わせの話と、会計の活断層による津波評価について審議いただきたいと思っておりますので、その内容を反映しております。
1:41:20	また今後のプレート間地震の津波評価のコメント回答に当たりましてはイベント堆積物のコメント回答についても、併せて説明を行いたいというふうに考えております。
1:41:32	それから続いて8ページの審査対応スケジュールのところですけども、
1:41:37	前回からの変更点を、赤字で示しております。
1:41:42	地質地質構造に関しましては現在のBF1地点のSK層を、上載層とした活動性評価を行うための調査を実施しております。
1:41:52	前回からの変更点としましては、前回の12月のところで、まず、評価方針について説明をした上で2月3月ぐらいで、
1:42:02	調査結果を踏まえた評価結果についてご説明をさせていただくということで、提示、説明をさせていただいておりましたが、12月の断面では、追加調査の状況をまずご説明をさせていただいて、
1:42:15	2月3月のところで評価方針と、その調査の結果をまとめて、ご説明をさせていただきたいということで修正をさせていただいております。
1:42:24	それから、基準津波の関しては、本日議論いただいた地震による津波のところのコメント回答をですね、近々、
1:42:35	審査会合で諮っていただいでその次に、プレート間地震、それから堆積物のコメント回答を実施していただき、その後に組み合わせということを来年から来年、
1:42:47	1月頃に、いや、実施していただければと考えております。また堆積物に関しましては現地の調査が必要になるのかなというところで、1月頃に現地調査を実施していただけないか。
1:42:58	ということで、反映をさせていただいております。
1:43:01	主な変更点としては説明以上になります。
1:43:08	大井。
1:43:10	地震動はとりあえずまずは、
1:43:15	年超過少し先なんで、津波が、これはちょっと後、最後実績に応じて、
1:43:23	割れていくんでちょっと、
1:43:25	ちょっと今ですかねプレート内の話と組み合わせの話、公平性の話だとは海域活断層のコメント回答の話は、
1:43:32	これがほぼ直近で会合で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:36	ちょっとどこにかけ、どこのタイミングになるかっていうのはありますけども、調整要素ありますけど、はい。
1:43:44	2 がーそうするとー、津波はそのあと今のところ、
1:43:50	年内のところにプレート間地震と堆積物のコメント回答もありますけど、
1:43:55	どちらかという、こちらとしては堆積物のコメント回答後は地質の方ちょっとね、
1:44:02	評価方針みたいなどころまでというもう小さく、調査の状況がしばらくトレンチを掘った停止というような進捗状況作業工程の進捗状況はどうなっているのかっていうのが、
1:44:12	ちょっとしばらく確認できてないので、
1:44:16	この辺り一応年内には1回お聞きしておきたいかな。
1:44:22	で、
1:44:24	そうすると津波堆積物のコメント回答の後に結局こっぴて現地調査が必要になってくるので、
1:44:30	そういうところも考えると、この現地調査のトリガーになる部分というのは、
1:44:36	割と、
1:44:38	優先順位が高くて、
1:44:40	もちろんその御社としてはプレート間地震のほうの評価っていうところも、
1:44:44	後々最後基準津波をキーになるっていうか根幹になるので、御社としてもそのいやこっちも優先順位高いですということかもしれないですけど、
1:44:53	今日我々の方としてはこの堆積物のコメント回答、これを
1:44:58	イベント堆積物とみなしを津波堆積ツツミ津波起因だとみなしますという割り切ってはいるものの、しっかりやっぱイベント堆積物とは何だ、どこでイベントリーと判断するんだっていうのは、
1:45:09	ここはしっかりとですね固めておかないと、現地調査がまたうちに流れてしまうと。
1:45:15	困りますんで、優先順位としてはかなり、高石。
1:45:19	プレート間地震に比べてですね、今の時点では、
1:45:24	この現地調査を考えると、優先順位としてはプライオリティは、
1:45:28	はい。
1:45:29	あとはちょっと現地調査の方も年末年始挟むので、ちょっとどのタイミングでいけるかっていうところはまた
1:45:37	検討だとかと思えますし、これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:40	堆積物のコメント回答で、これは現地に行って見れますねとなった上で の話ではあるんですけど、
1:45:46	その上でもうこのスケジュール通りもしです年末のところに会合にかけ たとしても、
1:45:52	ちょっと現地調査のタイミングっていうところがですね、一応年末年始挟 むので、
1:45:57	少し現地調査となると、
1:46:00	ロジ面とかもかなりある。
1:46:03	と。
1:46:04	1 月中かと言われるぞっていうのはここは少し、多少ずれるかもしれない
1:46:11	ただどういう順番でやっていくかっていうところは何となくイメージは、はい。 御社のところ、
1:46:16	希望等含めて考え、見えてきてます。
1:46:21	ちなみに、
1:46:23	どうですかね今これボーリングとかトレンチとか反射、
1:46:28	地震は炭素とか 12 月、2、
1:46:31	引っ張ってますけどこれ、12 月の頭ぐらいになると。
1:46:35	もう少し多分具体的に、
1:46:37	5000 だけが伸びてる部分が具体的に、どういうところまで掘り進んでい るかとか、ああいうところはわかるようになると思うんですけど、
1:46:48	大分調査地点そんなに増えたりとか、トレンチを掘ったりするところとか ボーリングを、
1:46:54	調査地点が新たに増えてるとかそういうことではない。
1:46:57	はい。チームで願うものでございます。トレンチはもう牛、
1:47:01	掘り上がってスケッチをして、火山灰の成分分析もしっかり出てきている というところで大体終わっております。で、
1:47:12	反射法についても
1:47:15	一旦は終わって、追加を少しもう少し測線ふやしたほうが説明性が上がる であろうというところは、並行して、
1:47:24	進めようかなと思っているところで、ボーリング自体も、
1:47:28	BF一位までの間のところは、一旦掘り上がってはいます。衛藤。
1:47:35	大深度でBF1 地点のところ、
1:47:38	当然嵯峨裕先生より下には行ってませんよという、敷地内でご説明した ものと同じデータをそろえる必要があるんでそれが半分強、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:49	惚れてきているので年末ぐらいまでに放り上がるんかなっていうぐらいで進めているので、調査自体は順調に進んでデータも順調に出てますのでこのあたり、
1:48:01	12月、2、写真等も添えながら状況をお伝えできるようにして参りたいと思います。
1:48:12	はい、わかりました。
1:48:14	そうですね。
1:48:18	場合によっては、こういう現地調査の折に、
1:48:22	少しついで、
1:48:23	2、
1:48:24	状況現地調査の方である程度時間が開けば、
1:48:28	メインのものが、
1:48:30	場所も近いとはいえ、現地調査に行くってなるとそれなりに、
1:48:36	機会は限られるので、もうそういう機会があったときに、
1:48:40	少し見てもらうんだとすると、
1:48:43	トベンチとかになるんですかね、こういうトレンチとかボーリングコアとか、
1:48:48	そうですねまずは、堆積物のコアをしっかりとイベントと認定したものとそうでないものの辺りをご確認いただくという、
1:48:58	ところをメインで進めつつ、
1:49:01	せっかく来ていただくので、特にトレンGのところっていうのは、もうしっかり掘り上がってますので、ご確認いただけるような準備は進めたいと思っております。
1:49:11	ちょっとボーリングAと間の同一性のところのボーリングがどこまで。衛藤。
1:49:17	柱状図が多分間に合わないと思うんでいや、それやっぱメイン、メインを中心にして見えるところを準備してみたいというふうなわけなんで、別にその、
1:49:27	無理に間に合っていないものとか進んでないものを見せていただく必要はない。
1:49:32	はい。
1:49:33	何となくアノと一井が見れそうかなというのはイメージがつき
1:49:38	はい。
1:49:39	はい、わかりました。
1:49:42	時間軸的なものはこれなの。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:45	結局次の会合の時点がいつになるかで多分その時点で、ずらしたりアップデートすると思う。
1:49:51	特に、
1:49:53	スケジュールを確認することはよろしいですかね。はい。
1:49:56	なければ、
1:49:57	中部電力の方から、
1:49:59	何かありますでしょうか。
1:50:05	じゃあ、よろしければ、ヒアリング以上で終了します。お疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。